



第1回 あいち・なごやインターナショナル・ アニメーション・フィルム・フェスティバル 【ANIAFF】

報道資料

主催:あいち・なごやインターナショナル・アニメーション・フィルム・フェスティバル実行委員会

共催:愛知県・名古屋市

お問合せ/

東京事務局:株式会社ジェンコ:TEL:03-5410-9944

愛知事務局:株式会社新東通信:TEL:052-951-3875

宣伝・お問い合わせ/

【紙・電波】メゾン:TEL:03-5452-2044

【WEB】野田香織:Mail k.nodakaori@gmail.com TEL:080-3019-6709

新たなる国際アニメーション映画祭が、愛知県名古屋市に誕生する！

2025年12月12日より、**第1回あいち・なごやインターナショナル・アニメーション・フィルム・フェスティバル**を愛知県名古屋市で開催いたします。

本映画祭は、日本の三大都市圏の中核のひとつである愛知県名古屋市の持つ産業と文化のパワーを融合したグローバル、かつ世界有数の規模の国際映画祭を県、市の支援のもとに実現します。日本第三の都市である愛知県名古屋市は、日本の中心に位置することに加え、アジア地域からの抜群のアクセスを持ちます。ここに世界中のクリエイターが集い、語らい、刺激し合うクリエイションの場を築きます。さらに常に未来志向をしてきた地域の特性を背景に、アニメーションをより広い視点で捉え「ジャンル」、「国境」、「テクノロジー」をクロスオーバーした次世代型の国際アニメーション映画祭・国際マーケットを構築し、日本、アジア、そして世界を牽引することを目指します。

愛知県名古屋市でアニメーション映画祭を新たに立ち上げる理由とは？

世界の映像クリエイターの中で、日本のアニメーションに全く影響を受けていない人はいないと言っても過言ではないでしょう。これが日本で大規模な国際アニメーション映画祭を開催する意義です。愛知県は2005年に2200万人以上を動員した愛知万博「愛・地球博」をはじめ、国際芸術祭「あいち」、「あいち国際女性映画祭」、「世界コスプレサミット」などの文化事業を継続してきました。近年は「ジブリパーク」が多くのお客を集めるなど、愛知県には世界中のアニメーションファンの熱い視線も注がれています。この地に12月「あいち・なごやインターナショナル・アニメーション・フィルム・フェスティバル」が加わることで、愛知県／名古屋市の文化事業の基盤はますます豊かになり、日本の文化の発展・活性化に大きく寄与します。東京・大阪からの至便なアクセス、アジアに広く開かれた中部国際空港セントレアを有する愛知県は都市インフラからも、大規模な映画祭を開催するにふさわしい都市です。

愛知県はまた、自動車産業などで日本の「ものづくりニッポン」を牽引してきました。この地から次世代の産業と目されるアニメーションの発信を行うことは大きな意義があるはずです。クリエイターたちによって生みだされるアニメーションは、まさに「ものづくりニッポン」の代名詞のひとつとも言えるからです。

クリエイター・ファースト絶対主義の国際アニメーション映画祭

2025年に新たに誕生する「あいち・なごやインターナショナル・アニメーション・フィルム・フェスティバル」には、世界各国・地域からジャンルや表現方法を超えた最先端の優れたアニメーション作品が集結します。ここにすれば「世界のアニメーションを一望できる」、「アニメーションの過去・未来・現在が分かる」、アニメーションファンだけにとどまらない刺激的な場所になります。

映画祭の機能は作品上映・紹介にとどまりません。国境を越えてクリエイター、プロデューサーが名古屋を訪れて、トークやカンファレンス、ワークショップなどを通してコミュニケーションを築きます。映画祭と合わせ、次世代のアニメーションを創る人材のためのハブを作り、国際企画マーケットやビジネスカンファレンスなども設けます。「クリエイター・ファースト」の国際マーケットから多くの作品を創出し、グローバルに発信することで、アニメーション文化・産業の発展と振興に貢献する、世界を代表するアニメーション映画祭が「あいち・なごやインターナショナル・アニメーション・フィルム・フェスティバル」です。

映画祭からのコメント

真木太郎(ジェネラル・プロデューサー)

この度、愛知県知事大村秀章様ならびに名古屋市長広沢一郎様を始め関係者様のご尽力により、第1回「あいち・なごやインターナショナル・アニメーション・フィルム・フェスティバル」を開催する運びとなりました。

アニメーションは日本を代表するコンテンツのひとつとして、映画から始まりました。その後テレビ、ビデオ、配信とそのメディアが変化するたびに多彩な進化を遂げ、今や世界中にそのファンを増やし続けています。デジタル化による表現技法だけでなく、作品のメッセージも多様な種類を生み出しています。この映画祭ではその「多様性を極めるコンテンツの価値」を広め、高め、進化させるエンジンになれるよう努力していきます。

井上伸一郎(フェスティバル・ディレクター)

アニメーションの地位を向上させたい、地方都市をアニメーションの力で元気にしたい、アニメーションを通して国内外の人の輪を広げたい。過去3年間、そうした思いで「新潟国際アニメーション映画祭」のフェスティバル・ディレクターを担当してきました。

おかげさまで、新潟国際アニメーション映画祭は年毎に動員数が増え、内容の充実をみたと思います。地域の活性化に、アニメーションが力になるという実感を得ることができました。新潟の地にアニメーション文化はしっかり根を下ろしました。

自分の役目は3年で一区切り、と思っておりましたところ、この度「愛知県と名古屋市」で新しいアニメーション映画祭を開くので協力してほしい、とお声をかけていただきました。

名古屋は日本で3番目に大きな都市です。行政の中心地である東京、商業の中心地である大阪。それに対し、愛知県と名古屋市はこれから何を目指してゆくのでしょうか。

私は「文化と芸術」こそ、目指すべきイメージだと考えます。

この地域の特徴である、自動車産業や鉄鋼業、生産用機械における創造性とクラフトマンシップも、その精神はPOPアートに通じるものだと感じます。

「機動戦士ガンダム」の富野由悠季監督が自身のことを「町場の人間」と呼称していたように、アニメーションも現場もクラフトマンシップに支えられています。

アニメーションを通して、この地に産業と文化の新しい融合を生み出せるのではないかと。新しく誕生する「あいち・なごやインターナショナル・アニメーション・フィルムフェスティバル」(ANIAFF)にはそうした可能性を感じます。

関東からも関西からもアクセスがよく、海外のお客様も訪れやすい立地で開かれるアニメーション映画祭は、大きな文化交流を生み出す可能性に満ちています。

私自身、この地でもうひと働きし、新しいアニメーション文化の創造にお役に立てれば、と決意しました。みなさまと一緒にANIAFFを盛り上げていきたい。ぜひお力をお貸しください。

数土直志(アーティスティック・ディレクター)

「グローバリゼーション」「ボーダレス」「次世代テクノロジー」、世界はいま大きく動いています。映像表現の最前線にあるアニメーションは、こうした文化・社会の変化や潮流を真っ先に映し出します。“アニメ

ーションはこれからどこに向かうのか” “どこに向かうべきなのか” それらを知ること、私たちは未来のカルチャーを垣間見ること出来るのです。

「あいち・なごや」はアニメーションの世界でこれから起きることをいち早く捉え、提示する新しいスタイルの映画祭を目指します。世界から最先端のアニメーションカルチャーが集まり、それを通して地域と世界がつながります。ワクワクやドキドキが体験できる6日間、いままでにない何か特別なことが起こるところ、そんな映画祭を作りたいです。

大村秀章(愛知県知事)

愛知県で初めて国際的なアニメーション映画祭が開催されることを、大変喜ばしく思います。

本県は、世界的に人気のある漫画「ドラゴンボール」の鳥山明氏や「僕のヒーローアカデミア」の堀越耕平氏など、多くのクリエイターの出身地として知られているだけでなく、国内外のファンを魅了する「ジブリパーク」や、世界最大級のコスプレの祭典「世界コスプレサミット」など、アニメーション文化と深く関わりを持っております。

こうした地域の特徴を活かしながら、世界中から集まる才能あふれたクリエイターが、多様な世界観や高い創造力を作品に込めて発信することで、ここ愛知が国際的な文化交流の中心地となり、地域全体の活力が一層高まることを期待しています。

本映画祭を通して、世界中の皆様に、心に残る感動や新たな出会いを体験していただければ幸いです。

広沢一郎(名古屋市長)

第1回あいち・なごやインターナショナル・アニメーション・フィルム・フェスティバルの開催にあたり、開催地の名古屋市を代表して、ご挨拶申し上げます。

本映画祭は、世界中からアニメーション作品を集め、上映、表彰、関連企画の実施等を通じて、日本のアニメーション界における文化と産業の発展、人材の発掘・育成につなげることを目指して開催するものです。開催にあたり、関係者の皆様のご理解とお力添えをいただき、深く感謝申し上げます。

「世界コスプレサミット」発祥の地である本市は、コスプレ・アニメを日本一楽しめ、世界一あたたかなおもてなしをするまちとなることを目指し「コスプレホストタウン宣言」を行っております。また、日本が世界に誇る、スタジオジブリの世界観を表現した唯一無二の公園施設、ジブリパークを近隣に擁しているなど、アニメーションはすでに当地域の魅力のひとつとなっていると考えております。

この本市のアニメーション文化を活かし、本映画祭では、アニメーションの文化的価値を世界に発信し、国境を超えた多様な文化交流を創出して、「アニメ大国、日本」のブランドイメージを強化できるよう支援をしてまいります。

本映画祭の成功と、今後ますますのアニメーション界の発展を心から祈念し、私からの祝辞とさせていただきます。

映画祭ロゴマーク 意匠の説明

あいち・なごやインターナショナル・アニメーション・フィルム・フェスティバルは、次世代の育成をひとつの使命と考えています。アニメーション、そのすべてにかかわるクリエイションにおいて、若い才能を支援することを映画祭の目的とします。

映画祭のイメージを発信する重要なロゴマークは、愛知県名古屋市でグラフィックを学ぶ学生の皆さんを対象にした公募から、厳正なる審査を経て HAL 名古屋 CG・デザイン・アニメ 4 年制学科 CG デザイナー専攻の小山田結香さん、世古真鈴さんのおふたりによるデザインの採用を決定しました。



ロゴマーク



英語バージョン(タテ) 日本語バージョン(タテ)



英語バージョン(ヨコ)



日本語バージョン(ヨコ)

小山田結香(こやまだゆいか)さんコメント

このたび、ロゴマークを制作する機会をいただき、大変光栄に思っております。愛知県の象徴であるシャチホコをメインモチーフに据え、若い世代の方々にも親しみを持っていただけるよう、ポップでキャラクター性のあるデザインを目指しました。シャチホコの特徴的な反り返るポーズを生かしつつ、全体を日の丸のような丸いシルエットにまとめています。また、映画の要素としてフィルム用リールの穴やパターンも取り入れることで、開催地やイベントのテーマが自然と伝わるよう心がけました。このロゴが多くの方々に愛され、フェスティバルの魅力をより一層引き立てる存在になれば嬉しく思います。誠にありがとうございました。

世古真鈴 (せこまりん)さんコメント

このたび、ロゴマーク制作に携わる機会をいただき、とても嬉しく、また身の引き締まる思いで取り組ませていただきました。本フェスティバルは、私自身も心待ちしている大切なイベントです。今回、そのシンボルとなるロゴをデザインする中で、アニメーションがもたらす高揚感や期待感を表現できるよう心がけました。全体は、訪れる方々に親しみを持っていただけるよう、丸みのあるポップな印象にまとめ、またロゴを通して開催地・愛知の魅力にも自然と目を向けていただければと思っています。このロゴがフェスティバルと共に多くの方に親しまれ、長く愛される存在となることを願っています。素晴らしい経験をさせていただき、ありがとうございました。

映画祭の各プログラム

1	国際コンペティション部門	2024 年 1 月以降に完成した 40 分以上の長編アニメーション映画を対象。国内・国外からエントリーされた作品からセレクション。グランプリなど各賞を決定。
2	招待上映部門	ワールドプレミア／ジャパンプレミアを中心にした国内外の最新作・話題作の上映。作品に関係する多彩なゲストが登壇。
3	特集上映部門	国内外の監督にスポットを当てる[ディレクター・フォーカス]、制作スタジオに注目する[スタジオ・フォーカス]、コアファン向けの[カットティング・エッジ]などのテーマ設けた特集企画
4	ニューウェーブ部門	「シリーズ作品の魅力」「テクノロジーへの挑戦」「越境するカルチャー」など、旬な切り口でアニメーションの魅力を紹介します
5	基調講演部門	審査員長やプレミアゲスト監督、招待ゲストによる講演
6	セミナー／カンファレンスプログラム部門	「Critics(批評)」、「Creative (クリエイティブ)」、「Cooperation (企業連携)」の 3 つをテーマにアニメーションを深掘りして検証。アカデミックとクリエイティブ、さらにピッチやプレゼンテーションなどが登場

*このほか国内外の他団体との提携プログラムを検討中。

コンペティション作品募集要項

コンペティション作品募集要項

募集期間：2025 年 6 月 11 日(水)18:00～ 9 月 30 日(火)23:59 ※日本時間

募集要項：2024 年 1 月以降に完成された 40 分以上のアニメーション作品

応募方法：公式 HP 内の応募フォームもしくは FilmFreeway より

▶注意事項ー

字幕について：日本語または英語音声以外の作品は、応募時に英語字幕が必要です。日本語作品の場合、上映決定後に英語字幕付きでご提出いただきます。

権利について：監督、プロデューサー、応募者が上映に関する権利を有し、本映画祭での上映に問題がないことをご確認ください。また作品に使用されている音楽やキャラクター、映像著作権などのすべての権利について、応募者が許諾を得ていることをご確認ください。

コンペティション各賞

選考を通過し、上映が決定した作品は審査員による最終審査が行われます

金鯨賞・・・グランプリ作品 賞金 100 万円とトロフィー授与

銀鯨賞・・・審査員賞 賞金 50 万円とトロフィー授与

赤鯨賞・・・観客賞 賞金 20 万円とトロフィー授与

映画祭概要

名称：あいち・なごやインターナショナル・アニメーション・フィルム・フェスティバル

英語表記：Aichi Nagoya International Animation Film Festival

会期：2025 年 12 月 12 日(金)～17 日(水)

主催：あいち・なごやインターナショナル・アニメーション・フィルム・フェスティバル実行委員会

ジェネラル・プロデューサー：真木太郎

フェスティバル・ディレクター：井上伸一郎

アーティスティック・ディレクター：数土直志

東京事務局：株式会社ジェンコ

愛知事務局：株式会社新東通信

共催：愛知県・名古屋市

協力：中日本興業株式会社、株式会社東急レクリエーション、株式会社新東通信、学校法人 日本教育財団
名古屋モード学園・HAL 名古屋

会場：ミッドランドスクエア シネマ、ミッドランドスクエア シネマ2、109シネマズ名古屋、NAGOYA 試写室を中核とした上映施設、名古屋モード学園&HAL 名古屋 5カ所を予定

上映本数：60～80 本(複数回上映含む)

予算規模：1.5 億円(予定)

会場と会場地図

ミッドランドスクエア シネマ、ミッドランドスクエア シネマ2、109シネマズ名古屋、NAGOYA 試写室を中核とした上映施設、名古屋モード学園&HAL 名古屋 5カ所を予定



アクセス

電車 名古屋駅には9路線が乗り入れています（JR東海道新幹線、JR東海道本線、JR中央本線、JR関西本線、名古屋市営地下鉄東山線、名古屋市営地下鉄桜通線、近鉄名古屋本線、名鉄名古屋本線、名古屋臨海高速鉄道あおなみ線）

空路 中部国際空港セントレアから名古屋駅までは最速28分（ミュースカイ利用の場合）

陸路 東京方面から→東名高速で約4時間
大阪方面から→名神高速、新名神高速で約2時間30分

